

検体検査結果の「共用基準範囲」採用のお知らせ

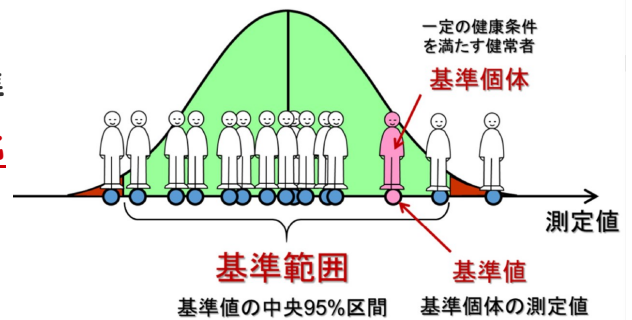
[1/2]

2022年1月1日(土)より、日本全国の医療機関で共通して使用することができる基準範囲である「共用基準範囲」を採用いたします。また、一部検査項目においては、各専門学会が公表している「臨床判断値」を採用します。

◇ 基準範囲とは

“健常者”の検査結果を多数集めて、そのうち95%の人が占める検査値の範囲を設定したものです。個人の検査結果値が、“健常者”と比べて高いか低いかを判断する目安となります。検査結果用紙に判定結果として“L(低い)”“H(高い)”と表示しているものです。

しかし、各検査室で独自に設定された「基準範囲」は、他の病院でもらった検査結果と比較しにくい、という欠点があります。



検査種別	血液凝固検査		材料	血液	
受付日			材料コメント		
受付番号	00010				
検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント	
PT(sec)	78.0	秒	*** 秒		
PT(act)	L 12	%	70 - 120 %		
PT(INR)	! 6.15		0.8 - 1.2		
APTT	H 50.0	秒	24 - 35 秒		
FIB	L 126	mg/dL	200 - 400 mg/dL		
D-D ⁺ イマー定量	H 1.5	μg/mL	1.0 μg/mL 未満		
ATIII	80	%	80 - 130 %		

◇ 共用基準範囲とは

他の医療機関の検査値との比較をしやすいするために、全国で同じ基準範囲を採用しようという動きがあり、これを「共用基準範囲」といいます。

検査値の標準化(どの検査室で測定しても同じ検査値が出る状態)が達成された40項目を対象として、大規模な調査によって設定された基準範囲で、日本医師会をはじめとする関連団体の賛同を得た基準範囲です。



検体検査結果の「共用基準範囲」採用のお知らせ

[2/2]

◇ 共用基準範囲 一覧 (下線は臨床判断値)

検査項目	性別	基準範囲	単位	検査項目	性別	基準範囲	単位		
WBC		3.30 - 8.60	10 ⁹ /L	AST		13 - 30	U/L		
RBC	男性	4.35 - 5.55	10 ¹² /L	ALT	男性	10 - 42	U/L		
	女性	3.86 - 4.92		女性	7 - 23				
Hb	男性	13.7 - 16.8	g/dL	LD		124 - 222	U/L		
	女性	11.6 - 14.8		ALP(IFCC)		38 - 113	U/L		
Ht	男性	40.7 - 50.1	%	γ-GT	男性	13 - 64	U/L		
	女性	35.1 - 44.4			女性	9 - 32			
MCV		83.6 - 98.2	fL	CK	男性	59 - 248	U/L		
MCH		27.5 - 33.2	pg		女性	41 - 153			
MCHC		31.7 - 35.3	g/dL	ChE	男性	240 - 486	U/L		
PLT		158 - 348	10 ⁹ /L		女性	201 - 421			
血算	TP	6.6 - 8.1	g/dL	AMY		44 - 132	U/L		
	ALB	4.1 - 5.1	g/dL	電解質	Na	138 - 145	mmol/L		
	A/G	1.32 - 2.23	(単位なし)		K	3.6 - 4.8	mmol/L		
	UN	8 - 20	mg/dL		Cl	101 - 108	mmol/L		
	CRE	男性	0.65 - 1.07		mg/dL	Ca	8.8 - 10.1	mg/dL	
		女性	0.46 - 0.79			IP	2.7 - 4.6	mg/dL	
	UA (*1)	男性	3.7 - <u>7.0</u>		mg/dL	糖	血清血糖	73 - 109	mg/dL
		女性	2.6 - 5.5			HbA1c (NGSP)	4.9 - 6.0	%	
	T-Bil		0.4 - 1.5	mg/dL	CRP	0.14 以下	mg/dL		
	脂質	TG (*2)	男性	40 - <u>149</u>	炎症マーカー	IgG	861 - 1747	mg/dL	
女性			30 - <u>149</u>	IgA		93 - 393	mg/dL		
TC			142 - 248	IgM		男性	33 - 183	mg/dL	
HDL-C (*3)		男性	<u>40</u> - 90	女性		50 - 269			
		LDL-C (*4)		65 - <u>139</u>		C3	73 - 138	mg/dL	
				C4	11 - 31	mg/dL			

臨床判断値の出典

*1: 日本痛風・核酸代謝学会「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン第3版(2018)」による高尿酸血症の診断閾値

*2: 日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017年版」による高トリグリセライド血症の診断基準

*3: 日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017年版」による低HDL-コレステロール血症の診断基準

*4: 日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2017年版」による高LDL-コレステロール血症の診断基準

◇ 臨床判断値とは

“健常者”であっても5%の人は「基準範囲」から外れることとなるため、「基準範囲」によって正常(健康)か異常(病気)かの判断をすることはできません。一方で、「臨床判断値」は、各疾患に関する専門学会が、**特定の病気の有無を判断したり治療の目標としたり**するために用いるものとして設定した値です。

